

お互いの「違い」を認めあえる 心地よい環境を広げるために

～自分も周りの人も大切にするための考え方～

わたしたちは一人ひとり違った人間で、生き方や考え方も人それぞれです。
「違い」があることが前提で、お互いの「違い」を認めあえる環境を広げる
ためには、どのようにすればいいのでしょうか。そのために大切なこととは。

式町さんの人生経験からの想い、そして心に寄り添う癒しの音楽とともに、
一緒に考えてみませんか。

講師

しきまち みずき
式町 水晶 氏

脳性まひと闘う
ポップヴァイオリニスト



日時

2025年（令和7年）

10月7日 火

午後3時～4時30分
（開場 午後2時30分）

会場

F プレイスホール

（藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設）

定員

60人

（事前申込制・先着順）

参加
無料

申込受付期間

9月1日（月）午前8時30分～10月3日（金）午後5時

手話通訳、要約筆記、託児（未就学児のみ。先着6人）は事前の予約が必要です。

※予約は9月22日（月）午後5時まで。

Webでのお申込



申込方法

藤沢市ホームページ電子申請または電話で、①氏名（ふりがな） ②電話番号（電話での申込の場合）
③手話通訳・要約筆記・託児（託児ありの場合は、子どもの名前・ふりがな・年齢・性別）
の有無をご記入のうえ、お申し込みください。

○電話での受付は、月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時

※申込に際しご連絡いただいた個人情報につきましては、適正に管理し、この事業に関する対応以外には使用いたしません。

問い合わせ

藤沢市 企画政策部 人権男女共同平和国際課
TEL 0466-50-3501 FAX 0466-50-8436
E-mail: fj5-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp

主催

藤沢市

講師プロフィール

しきまち みずき
式町 水晶氏 脳性まひと闘う
ポップヴァイオリニスト



1996 年北海道旭川生まれ。

東日本大震災の津波に耐えた陸前高田奇跡の一本松と被災地に残された瓦礫や家具を再利用して作られた「津波ヴァイオリン」を所持し演奏することを託される。

「障がい者と健常者の垣根を越え、より多くの人々に夢や希望を贈りたい」との思いで、被災地をはじめ全国各地で社会貢献活動を実施。コンサート、ライブ、各種講演会、楽曲制作を精力的に行っている。

2018 年、21 歳でキングレコードよりメジャーデビューを果たし、2021 年には東京パラリンピック閉会式での演奏を経験。また、2023 年 8 月 17 日には京都・清水寺にて世界平和奉納演奏を行う。

2025 年 4 月に人権擁護委員、5 月に神奈川県ともいきマイスター（第 1 号）の任命を受ける。

実現したいのは、「平和・公正な社会」。

「人々の癒し、鼓舞する音楽を届けること」を使命に、「教育・福祉・防災」の 3 本柱で、学校訪問、人権イベント、消防イベント等で演奏・講演活動を続けている。

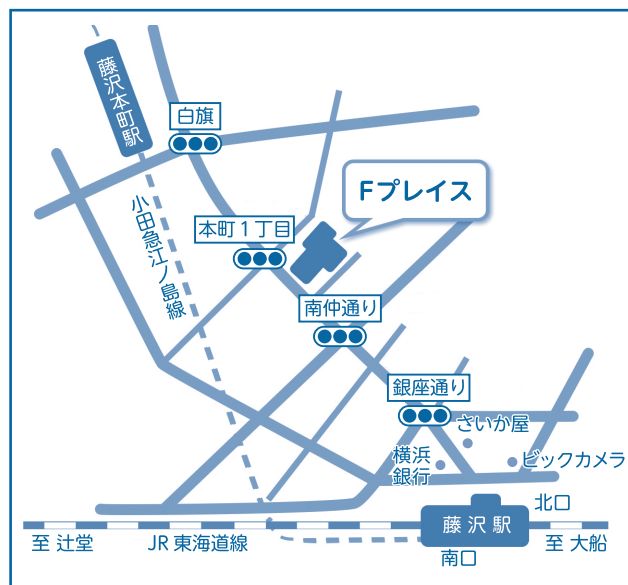
F プレイス案内図

F プレイス

藤沢市本町 1 丁目 12-17

藤沢駅から徒歩 11 分、藤沢本町駅から徒歩 9 分

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用のうえ、お越しください。



ふじさわ人権文化をはぐくむまちづくり指針 ～藤沢市人権施策推進指針改定版～

お互いの人権を尊重し、さまざまな生き方や考え方を認め、支えあいながら人権文化をはぐくむ、ともに生きるまちを築いていきましょう。

● 基本理念 人権を大切にし、「人権文化」をはぐくむまちづくり

※「人権文化」とは、一人ひとりが自由・平等であり、差別や人権侵害があつてはならないという人権を尊重する精神が、すべての人や社会の中に定着し、自然にわたしたちの普段の態度や行動に現れていることです。

- 基本目標 1. 個人が尊重され、自分らしい生き方ができる社会の構築
- 2. ともに支えあい、ともに生きる社会の構築
- 3. パートナーシップによる施策の推進



◀ 詳しい内容はこちらからご覧ください

